

B スーパーサイエンスハイスクール国際交流事業

(1) 研究開発の課題（研究概要）

本校は英語によるコミュニケーション能力や異文化理解、国際的な取組への興味・関心の向上を目指して国際交流事業に取り組んできた。その中心となる取組が平成25年度より開始した英国パブリックスクールRadley Collegeとの国際交流である。

(2) 研究開発の経緯

Radley Collegeとの国際交流では、3月には1週間の日程で本校の生徒8名と教員2名がRadley Collegeを訪問する。その際、Radley Collegeにて化学、物理などサイエンスの授業を中心に参加し、実験・探究・プレゼンテーションを重視した授業を体験する。各派遣生徒は自身が行った課題研究の成果を英語でプレゼンテーションし、現地の生徒と意見を交換する。また、オックスフォードやロンドンを訪れ、世界屈指の展示物を誇るいくつかの博物館、科学館で研修することで、人類が現在の科学的な生活を手に入れた歴史を学ぶ機会にも恵まれている。10月にはRadley Collegeから生徒と教員が1週間来校し、英語や理科、数学の授業でディスカッションや実験を通して全校生徒と交流を行う。昨年度からは、より多くの生徒の国際性を高めるために名古屋大学と連携して、2年生の英語の授業の中で留学生と交流するプログラムを開発した。

残念ながら本年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、国際交流を中止したためオンラインを活用した下記のプログラムを計画した。

(3) 研究開発

ア ねらい

イギリスとのオンライン交流は時差が大きいことから難しく、新たにシンガポール及び台湾の高校とのオンライン交流会を企画した。英語による文化交流や課題研究発表などを行い、深い議論をすることでアジアの生徒たちの考え方を理解することがねらいである。自らの英語力を使って、英語を母国語としない人たちと情報を共有できるよう、コミュニケーション能力を身につけることを目指して行う。

イ 内容

通信機器を利用し1、2年生の希望者を対象に実施する。

対象となる学校の概要と方法は以下のとおりである。

(ア) Hwa Chong Institution 華僑中學（シンガポール）

シンガポールの名門校で教育省からFuture Schoolの指定を受けている。ICTに力を入れている学校である。

SDGsの中からそれぞれのグループがディスカッションするテーマを選び交流する。

対象生徒 本校1、2年生 30名程度

実施日 令和3年3月19日

実施方法 会議アプリGoogle meetを使用する。

(イ) Banqiao Senior High School 板橋高級中學（台湾）

理数科を有する台湾新北市のトップ校である。授業で課題研究に取り組んでいる理数科の生徒との交流を計画している。両国の生徒がそれぞれ4件ずつ課題研究の発表を行う予定である。

対象生徒 本校1、2年

実施日 令和3年 6月11日、7月31日

実施方法 会議アプリZOOMを使用する。